

令和 4 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	後期高齢者医療特別会計繰出金・諸費等	会計名称 予算科目	一般会計 3 款 1 項 15 目	事業番号	6230-2	担当課	市民課
事業評価の有無	<input type="checkbox"/> 評価対象事業 <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)		所属長名		高橋洋司		
法令根拠等	地方自治法第291条の4第1項 (広域連合規約) 伊予市後期高齢者医療の被保険者に対するはり又はきゅう施術助成要綱					担当責任者名	武智ゆかり
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 生涯にわたる健康づくり					実施期間	【開始】 令和/平成 20 年度 【終了】 令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	後期高齢者が安心して医療サービスを受けることができる環境を整備する。						
事業の対象	後期高齢者医療被保険者		事業の目的	後期高齢者医療被保険者に係る療養給付費の一部を負担することで、後期高齢者医療財政の安定化を図る。また、被保険者のはり・きゅう施術料の一部を助成する。また、特別会計に人件費・事務費・共通経費・基盤安定負担金を繰り出し、特別会計の繰り入れとする。			
事業の内容 (整備内容)	愛媛県後期高齢者医療広域連合に対し、療養の給付等に要する費用の負担対象額の1/12に相当する額を、療養給付費負担金として支払う。また、被保険者が市内施術所でうけたはり・きゅう施術費用の一部を助成する。		評価事業としないこととした理由	広域連合が給付実績に基づき算定した事務費、共通経費、基盤安定負担金が主であるため。			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)											
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	4年度予定	9月末の実績	4年度実績						
直接事業費	627,030	704,314	3,357	0	0	698,883	療養給付費等負担金	千円	466007	524235	349490	527592						
財源内訳							職員給与・事務費	千円	14296	15855	0	15584						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	広域連合共通経費	千円	12773	14189	0	13069						
県支出金	100,465	112,526	0	0	0	106,979	基盤安定事業費負担金	千円	133954	150035	0	142639						
地方債	0	0	0	0	0	0	向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)											
その他	0	0	0	0	0	0	5年度	670,000	6年度	670,000	7年度	670,000	8年度	670,000	9年度	670,000	5年間の合計	3,350,000
一般財源	526,565	591,788	3,357	0	0	591,904												
職員の人工 (にんく) 数	0.03	0.03				0.03												
1人工当たりの人件費単価	7,841	7,794				7,794												
※ 直接事業費+人件費	627,265	704,548				699,117												
主な実施主体	直接実施	実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)																

事務事業評価 (CHECK)

自己判定 (担当責任者)	事業の成果	療養給付費負担金や特別会計繰出金については、広域連合からの額決定通知で支払いとなるため、再考の余地はない。はり・きゅうの助成については、対象者が減少しており、国保事業も含めて事業の見直しを検討すべきであると考え。	
一次判定	事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する	判断の理由 後期高齢者医療特別会計を運用するための法定の負担金であり、制度の運営のために必要な事業である。